

平成25年度 事務事業評価調査 [ソフト事業]

事務事業コード 62211002

平成25年度作成

平成24年度
実施事業

事務事業名 国際交流推進事業

| 区分 | No | 名称 |
|--------|-----|---|
| 章 | 6 | 担いあうまちづくり |
| 節 | 2 | 交流によるまちづくりの推進 |
| 施策 | 2 | 海外との交流の場と機会の拡大 |
| 小分類 | 1 | 地域国際化の推進 |
| 主要な施策 | 1 | ①国際交流の推進 |
| 事務事業番号 | 002 | 事業開始年度 平成 4 年度 事業終了年度 平成 ー 年度 会計種別 一般会計 |

| | | | |
|-----|-----|-------|----------|
| 部 名 | 総務部 | グループ名 | 企画調整グループ |
|-----|-----|-------|----------|

事務事業の概要

《Plan・Do》

| | |
|--------------|--|
| 目 的 | (事務事業の実施目的を具体的に記入してください) |
| | 市民の国際理解を深めることにより、登別市における国際交流を推進することを目的とする。 |
| 事業内容及び実績 | (事業内容及び平成24年度の実績を具体的に記入してください) |
| | 登別市の国際交流を推進するため、国際交流推進団体等と連携し、国際理解を深めるための事業を実施するほか、友好都市協定を締結している海外都市との交流事業を実施する。 【平成24年度の主な事業実施内容】 ・国際交流推進団体による外国人研修生等受け入れに対する支援 ・国際交流推進団体との意見・情報交換会の実施 ・国際理解講座の開催（お国紹介、料理教室等を5回開催） ・サイパン市中学生の受入及び交流（生徒7名・引率者2名が訪問） |
| 今後の方向性 | (次年度以降の事業展開における改善など今後の方向性を具体的に記入してください) |
| | 国際交流推進団体と連携しながら、国際理解を深めるための事業の内容の充実に努めるとともに、友好都市との交流を推進する。 |
| 根 拠 法 令 等 | (事業を実施する際、根拠となる法令・条例・規則・要綱等の名称を全て記入してください) |
| | 平成19年 6月10日 ファボー・ミッドフュン市との友好都市協定書 平成18年11月20日 サイパン市との友好都市提携同意書 平成24年11月15日 広州市との友好都市協定 |

事業費（財源内訳）の推移

《Plan・Do》

| 区 分 | | 単位 | H23年度 決算 | H24年度 決算 | H25年度 当初予算 | H26年度 見込 | H27年度 見込 |
|--------|----|----|-------------|-------------|---------------|-------------|-------------|
| 国庫支出金 | 名称 | 千円 | | | | | |
| 道支出金 | 名称 | 千円 | | | | | |
| 地方債 | 名称 | 千円 | | | | | |
| その他 | 名称 | 千円 | | | | | |
| 一般財源 | 名称 | 千円 | 140 | 182 | 473 | 473 | 473 |
| 事業費 合計 | | | 140 | 182 | 473 | 473 | 473 |

指標の推移

《Check》

| 区 分 | | 単位 | 区分 | 23年度 実績 | 24年度 実績 | 25年度 目標 | 26年度 目標 | 27年度 目標 |
|----------|---------------|----|-----|------------|------------|------------|------------|------------|
| 成果 指標 | ① 講座等の参加者数 | 人 | 目標値 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 |
| | | | 実績値 | 81 | 111 | | | |
| | ② 市民・児童生徒等の交流 | 人 | 目標値 | 2,000 | 2,000 | 2,000 | 2,000 | 2,000 |
| | | | 実績値 | 2,824 | 2,244 | | | |

| 比較 | | 《 Check 》 |
|--|---|-----------|
| 平成24年度実施以前又は実施中に見られた課題、問題点等 | 左記の解決に向け行った取組や対策、工夫等 | |
| <p>・市内では、複数の国際交流推進団体が活動しているが、そのほか地域国際化の推進にあたっては、市として国際交流推進団体との連絡調整や海外の友好都市等との交流を行うことが必要となるなど、市が一定の役割を果たすべき場面がある。</p> | <p>・市内国際交流推進団体の活動とあわせて市が本事業を実施したことで多面的な交流を行えたことから、今後とも国際交流推進団体と連携しながら実施内容の充実に努める。</p> <p>・国際交流推進団体の活動支援を積極的に行い、国際交流推進団体と市の連携をより深めるほか、友好都市との友好交流の促進を図るため、平成25年度の緊急雇用創出推進事業の活用に向けて取組を進めた。</p> | |

| 担当グループによる事務事業評価の内容（複数回答可） | | 《 Check 》 |
|-----------------------------------|--|---|
| 1. 事務事業の妥当性について | | |
| 市が事業主体として実施していくべき妥当性の高い事業ですか？ | <input type="radio"/> ① 市が主体に行うべき事業である <input type="radio"/> ② 民間(事業者、市民団体等)でも実施可能である <input type="radio"/> ③ 国、道、他団体等との連携や広域化が可能である <input type="radio"/> ④ 国、道、民間等の事業と重複・類似している | 判断理由及びその他所見 市民に諸外国の異文化を体験、学習する機会や場を設定するほか、地域国際化の推進にあたっては、国際交流推進団体との連絡調整や海外の友好都市等の交流が必要となることから、市が主体となって事業を実施することは妥当である。 |
| 2. 事務事業の必要性について | | |
| 市民ニーズの状況等から勘案して、必要性の高い事業ですか？ | <input type="radio"/> ① 市民、団体等から具体的な要望がある <input type="radio"/> ② 市民アンケートの結果から必要性が高い <input type="radio"/> ③ 社会情勢、地域事情等から必要性が高い <input type="radio"/> ④ 市民の大部分が関連することから必要性が高い | 判断理由及びその他所見 国際交流推進団体による研修生の受け入れに対する支援や、海外からの来訪者の通訳等の対応を行うなど、国際交流推進団体の声にも応えつつ事業を実施しており、地域の国際化を推進するうえで、必要性は高い。 |
| 3. 事務事業の効率性について | | |
| 事業内容とコスト(事業費)のバランスがよい効率性の高い事業ですか？ | <input type="radio"/> ① 低予算、少労力で高い効果をあげている <input type="radio"/> ② 市で実施するほうが民間委託より効率性が高い <input type="radio"/> ③ 多額の経費や労力を要するがやむを得ない <input type="radio"/> ④ 将来的に効率性を向上できる | 判断理由及びその他所見 国際交流推進団体と連携しながら、国際理解を深めるための各種事業や友好都市との交流促進事業を展開することにより地域の国際化が図られている。 |
| 4. 事務事業の成果について | | |
| 目的を達成するための成果はあがっていますか？ | <input type="radio"/> ① 成果指標の向上が見られる <input type="radio"/> ② 市民、団体等の声から成果を感じられる <input type="radio"/> ③ 目に見える形で成果があがっている <input type="radio"/> ④ 成果の把握は困難である | 判断理由及びその他所見 多くの市民の参加のもと国際理解講座が開催されているほか、外国人研修生や友好都市からの訪問団による学校訪問を通じた生徒との交流など各種事業の実施により、活発に交流が行われている。 |

| ①担当グループによる評価 | | 《 Check 》 |
|--------------|----------------------|---|
| 維持 | 左記の評価を選択した具体的な理由(根拠) | 友好都市提携に基づく海外都市との友好交流を推進するとともに、地域の国際理解を深めるため、国際交流団体と意見・情報交換を行い、連携しながら各種取組を進めていく。 |

| ②行政評価会議による評価 | | 《 Check 》 |
|--------------|----|-----------|
| 維持 | 備考 | |